

■広報特集に関するアンケート

令和7年5月号特集「家の未来を考えるー空き家ー」

年代	特集を読んでのご感想、ご意見をお寄せください。
60代	周りも空き家が多く、次世代の方々が家を離れて行く歯止めが効かない状態で、解体費用が増加する一方、買い手はつかず、深刻な問題です。 住みたい街「酒田」は期待出来ないもののでしょうか？
70代以上	魅力ある町としての取り組みもあるが、移住するには生活が潤う職場が必要。 若い人達の定着とか人口減に歯止めを。
50代	空き家が有効活用されるプランがあるとよいと考えます
40代	酒田市市内の方は利用価値がありそうだが少し離れた旧平田、八幡、松山地域は市内よりも空き家が多く活用用途の必要性が低いと思われるので相談や登録はすると思うが追いつかないと思う。 空き家の数は予想以上に増えてくると思うので今から空き家の可能性がある家をネットを活用しある程度把握しておく事も必要だと思います。
60代	今後も継続してデータを時系列、自治会別等にグラフ化、視覚化して、効果を見えるようにしてほしい。市民がアクセスして、いつでも見れるようにしてほしい。
50代	今は家族がいるが、本当に他人事ではないなーと思う。
60代	具体的にどういったことまで支援してもらえるのかが疑問。
60代	空き家の所持者に積極的に連絡を取り、空き家を解体するか何かに活用するかははっきり決めさせて欲しい。そうする事で、犯罪防止や不審火防止につながると思います。
50代	住宅だけなのか、倉庫(蔵)や土蔵の解体や土地を手離しが何処に相談をすればいいのか分からない 市役所に相談に行っても親身にはなってくれるのだろうか？ 門前払いされたりたらい回しされて終わるのなら相談する価値も無いしそんな特集しても意味が無い

■広報特集に関するアンケート

令和7年5月号特集「家の未来を考えるー空き家ー」

年代	特集を読んでのご感想、ご意見をお寄せください。
40代	築53年の家が老朽化してこの家に何年住めるのだろうか…修理するにも金銭的に厳しい。いずれ、空き家になる家にこれ以上の修理費は出せないと思い、売却を考え不動産屋に話を聞いても浜中は、「市街化調整区域」なので売りに出しても買い手がつかないと断られ。解体ローンを組もうとしてもこの辺りの銀行で解体ローンを売りにしている銀行はない。そもそも、親が残した土地が大きすぎて解体するにもびっくりするほどの費用がかかる。市街化調整区域って何ですか？そんな制度のせいで土地が売り買い出来無ければ、老朽化した家をほったらかすしか他ないです。日々の生活だけでも大変なのに、家の解体費用を工面する余裕なんてないです。 だからもう、空き家をほったらかしにしてしまおうか…と考えてしまうんです。 市や国の補助金が降りる制度もあるようですが、微々たるものです。本当に、空き家問題をどうにかしたいなら行政が動き、解体主に解体ローンを組み易くしてくれるとか、近隣に迷惑がかからない段階で早期解体を実行した人には、補助金を優遇するなどしないと、誰も進んで解体しないと思います。古民家を再生して活用させる方法も素晴らしいと思いますが…観光地などある程度、人が来る。レジャーが充実している。と言う場所じゃなければ、古民家を活用したところでお金は生まれません。今、空き家で悩んでいる人達は、再生させるとかそんなのどうでもいいのです。早く、解体して近隣に迷惑がかからないようにしたい。だけど、解体費用がない。お金が貯まるまで、このままにしておこうか…と悩んでいるんです。 古民家を再生させよう！なんて、流暢な事を言っている暇があったら、市の予算や県の予算で空き家解体費用補助金をアップ！とか解体ローンを組みやすく銀行と何らかの提携を組むとかしてほしいです。
60代	空き家対策は個人の財産権を制限し、自治体による処分行為(解体、売却、公的利用など)を行える法整備が必要と考える。
70代以上	自分ももうすぐひとり暮らしになるので、大変参考になった。アンケートとは関係ないが、広報が一回になって厚くなりファイルに綴じるための穴あけが大変。
60代	空き家の問題はなかなか、難しい問題だが、ガラス割れている中で猫やタヌキなど、住みついたり、 補助金を利用して、壊して、空き地にして、酒田市にやればいいと思います。 ※補助金の代わりに、酒田市にやると契約すればいいと思います
50代	空き家特集を読んで、我が家も家族全員で話し合っておかなくてとは、つくづく思いました。